

# こんにちは うみ議会です

第100号

2026.2.13

No.100

うみ議会だより  
12月定例会



第100号

発行/福岡県宇美町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/松影堂印刷(株)

発行日/令和8年2月13日

〒811-2192

福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号  
TEL: 092-934-2248 FAX: 092-933-2281  
E-mail: gikai@town.umi.lg.jp

## 議会広報 インタビュー シリーズ

第19弾

子どもたちの笑顔と  
それを支える方々に  
スポットを当てていきます

### 桜原小学校で餅つき体験!

桜原小学校の全児童は、総合的な学習の時間を活用し、学校や地域の協力のもと、コメ作りに取り組んでいます。田んぼで「でんりんピック」や、田植えから稲刈り、収穫後の餅つき体験までを通して、食の大切さや地域とのつながりを学んでいます。  
今回、5年生を対象とした餅つき体験取材しました。

#### 餅つき体験を支える 桜原小学校区コミュニティ運営協議会

鶴川会長は「桜原小学校主催の餅つき大会は、『子どもに体験させたい』という願いのもと、地域の方々の協力により開催され、今年で30年目を迎えます。行事を通じて、日頃から地域の方々とつながりをつくるのが大切で」と話されました。



校区コミュニティの鶴川会長と渡邊副会長

お餅を上手に丸めることができました。お餅はあんこ餅が大好きです。

お餅をつくのは3回目です。杵が重くて疲れたけど、とっても楽しかったです。



## この町が好き! みんなで作る未来



### 青少年の思い主張大会の発表者7人に聞いた 今を生きる青少年の本気の声

P2 特集 第100号記念 宇美町から未来へ 町出身著名人のメッセージ

P4 12月定例会の概要  
～町民の暮らしを守る予算～

P7 一般質問 町政を問う7人が登壇

P15 委員会活動報告



Koe Meter  
声メーター  
実施中!  
議会広報が聞いたみなさんの声  
2022.3から

## Webアンケート

うみ議会だより第99号アンケートへのご協力ありがとうございました!

ご回答をいただいた中で「特集記事で自分が子どもの頃にはなかったものを見て、宇美町の教育への進化を感じました」「議員が目にしたお金の使い道はコンパクトにまとめられていて、読みやすいと感じました」「文字過多で読みにくいと感じるページがありました」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後のうみ議会だより作成に生かしていきます。

おかげさまで、うみ議会だよりは第100号を迎えることができました。今号を読んだ感想をぜひ、右のWEBアンケートからお聴かせください。



議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter  
2022年3月議会からの傍聴者 累計  
12月定例会は26人が傍聴に来られました

322

【発行責任者】  
議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】  
委員長 丸山 康夫 / 委員 高橋 紳章  
副委員長 鳴海 圭矢 / 委員 安川 禎幸  
委員 安川 繁典 / 委員 小林 孝昭

## 議会からのお知らせ

- ◆ 議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。
- ◆ 議会ホームページからは生中継がご覧いただけます。
- ◆ 傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名をご記入ください。

今後の議会は3月9日に開会予定です。

# このまちが原点 宇美町から未来へ 町出身著名人のメッセージ

特集

12月定例会

一般質問

委員会活動報告

特集

12月定例会

一般質問

委員会活動報告



やまぐち こうざぶろう  
**山口 幸三郎さん** 作家  
井野小学校出身

## 代表作『探偵・日暮旅人シリーズ』

思い起こせば私の夢への出発点は、井野小学校の小さな図書室でした。限りある本の中に、無限の世界が広がっていることを知り、私の挑戦は始まりました。もしも不安なら周りを見てください。宇美町での思い出がきっと自信をくれるはず。町はあなたの味方です。いつまでも。どんなときでも。故郷は背中を押してくれます。いくつになっても。どこにいても。



町立図書館の  
山口幸三郎文庫

うみ議会だよりは、平成13年の創刊以来、議会と町民の皆さまをつなぐ懸け橋として、議会活動や審議の様子をお伝えしてきました。

今回の特集では、第100号を記念し、本町出身の著名人の皆さまにご協力をいただき、こどもたちの夢を応援するメッセージやこれからの宇美町への想いを中心に、宇美町で過ごされた頃の思い出やエピソードなど、「ふるさと うみ」への温かな想いを語っていただいています。

本町の未来を担うこどもたちが、先輩方の歩みや言葉から夢や希望を受け取り、その背中を追いかけてほしい——。そんな願いを込めた特集です。



うちの つやか  
**内野 艶和さん** チーム楽天Kドリームス所属  
宇美小学校・宇美中学校出身

## 2024年パリオリンピック自転車競技出場

私が大切にしていることは、自分の中の夢や目標を見失わないことです。努力は必ずしも報われるとは限りません。ですが、何もしなければ何も変わりません。

皆さんには、一步を踏み出す勇気をもって、たくさんの方にチャレンジして欲しいなと思っています。

私も地元宇美町をもっと盛り上げていけるように頑張ります。



あいかわ りさ  
**相川 理沙さん** シンガーソングライター  
宇美小学校・宇美中学校出身

## 宇美町制施行100周年記念ソング「しあわせに込めて」作詞作曲

私は、中学生の頃に抱いていた歌手という夢を叶えて、今も活動しています。

思い悩んだ時には、よく宇美八幡宮に行き大きな楠の木を見上げ、木の葉が揺れる音や光に何度も背中を押されました。

今はネットの情報に迷うことも多いと思います。そんな時は、宇美町の自然に触れてみてください。深呼吸して「やってみよう」と思えたなら、その気持ちがあなたの夢を叶える原動力になります。

応援しています。



ながおさ としなり  
**永翁 利成さん** 神武原小学校・宇美中学校出身

## 宇美町人会(関東地区)会長

私は現在、関東圏にお住まいの宇美町ゆかりの方々が集う「宇美町人会」の会長を務めています。

宇美町人会は、「町制施行100周年」の年である令和元年に発足し、「ふるさと!宇美町に想いをよせる」会にしたいと始めました。三郡山の連峰、宇美八幡宮の歴史など、私たちが育んでくれた故郷を思い出しています。

「宇美町人会」が、関東圏に就職・就学を機に生活の場を移し、それぞれの分野で志を持たれ、活躍されている宇美町ゆかりの方々の交流の場になればと思っています。

ご加入・ご紹介は関東地区宇美町人会事務局(役場シティプロモーション課)までよろしくお願いいたします。



まつもと たくみ  
**松元 卓巳さん** あいおいニッセイ同和損保(株)所属  
桜原小学校出身

## 2025東京デフリンピックサッカー競技銀メダル

『うみ議会だより』発行第100号の節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

幼少期から中学校1年まで宇美町で育って大人になり、また大好きな故郷に帰ってきました。宇美町は自然豊かで歴史の趣きもある、すてきな町です。人も温かく、優しい町です。

こどもたちは、そんな宇美町で好きなことをして、大きくなったときには世界に羽ばたけるような。また、1人の人間として輝けるような人になってほしいなと思います。

共に楽しんでいきましょう!



動画でご覧いただけます。



12月定例会

# 町民の暮らしを守る予算

12月定例会は、12月3日から12月9日までの7日間の会期で開かれ、町長から提出された財産の取得をはじめ、工事請負契約変更、指定管理者の指定、条例、補正予算などの17議案と委員会発議2件、議員発議1件を全て原案どおり可決しました。  
一般質問では7名の議員が町政全般にわたって8項目の質問を行いました。



こどもたちの成長を見守り続ける宇美幼稚園

## 働く婦人の家の指定管理者の指定

指定管理者 指定

指定管理者 社会福祉法人

指定期間 令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

宇美町社会福祉協議会



し〜ず・うみ館長 吉村 順子 さん

「し〜ず・うみ」は、仕事、育児、介護など、日々忙しく生きる女性が、悩みや不安を一人で抱え込むことなく、安心して語り、学び合える場として生まれました。現在では男性利用者も増加し、生活の充実を大切にしながら、自分らしい働き方や暮らし方を見つけ、課題に向き合い、問題解決の糸口を共に探してまいります。これからも皆さんを支援してまいります。

## 条例

### 宇美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

全てのこどもの育ちを支え、良質な成育環境を整えるため、生後6か月から満3歳未満で保育所等を利用していない子どもを対象に、就労要件を問わず、月一定の範囲で時間単位により利用できる制度を令和8年4月から実施する。



宇美幼稚園 事務長 中村 正弘 さん

こども誰でも通園制度は、時間単位で気軽に利用でき、はじめての育児に不安を抱える保護者が安心して相談でき、孤立を防ぐ温かな場です。乳幼児にも多様な人や環境と出会う機会を届け、こどもたちの健やかな育ちを支えていきます。

※万円未満四捨五入

## 病児保育事業費

一般会計補正予算

宇美・志免・須恵の3町共同で、疾病にかかっているこどもを一時的に預かる病児保育事業の経費を計上する。  
(委託していた医療機関の閉院に伴う委託料の精算と、新たに事業を委託する正信会水戸病院(須恵町)への経費。)

減額

403万円

## 妊産婦応援事業費

一般会計補正予算

妊娠中から出産後の母体の回復、育児不安の軽減を図るために実施している妊産婦応援事業「うみバック」の利用者増加に伴う経費を計上する。

増額

222万円

## 委員会発議

### 宇美町議会のハラスメント防止に関する決議

ハラスメントが個人の尊厳を不当に傷つけ、人権侵害に当たることが強く自覚し、議会全体でハラスメントの防止および根絶に努めることにより、信頼される議会の実現をめざす。

### 宇美町議会ハラスメント防止条例の制定

宇美町議会のハラスメント防止に関する決議に基づき、条例を制定する。

提出者 議会ハラスメント防止条例検討特別委員会  
委員長 安川 禎幸

## 議員発議

### 地域医療提供体制の維持・確保のための診療報酬改定等を求める意見書の提出

物価高騰や人件費上昇に対し、診療報酬改定が追いつかず、保険医療機関等は深刻な経営難にある。国はこうした状況を真摯に受け止め、適切かつ早急に改善するため、臨時的な診療報酬の改定や国による補助制度の創設・拡充などの対策を講じるよう、強く要望する。

提出者 鳴海 圭矢  
賛成者 高橋 紳章  
丸山 康夫

一般会計補正予算

### ふるさと宇美町応援寄附事業費

ふるさと応援寄附金額が想定額を超えるため、それに伴うシステム利用料、運営代行手数料、運営業務委託料などの経費を計上する。

増額

1億1113万円

一般会計補正予算

### ふるさと応援基金積立金

個人版ふるさと納税および企業版ふるさと納税の寄附見込額の増加に伴い、寄附見込額から経費を除いた額を「ふるさと応援基金」に積み立てる。

増額

9667万円

一般会計補正予算

### 企業版ふるさと応援寄附事業費

企業版ふるさと応援寄附金額が当初の想定額を超えるため、それに伴う運営代行手数料を計上する。

増額

220万円

## 条例

### 宇美町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

資源物の持ち去り行為の防止を強化するため、資源物の所有権を明確にして罰則規定を設ける。

特集

12月定例会

一般質問

委員会活動報告

特集

12月定例会

一般質問

委員会活動報告

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討論など
財産の取得 (国特別史跡大野城跡)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更 (令和6・7年度 武道館外壁・屋根及び内部等改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更 (令和7年度 宇美東中学校校舎外壁等改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
指定管理者の指定 (宇美町働く婦人の家の指定管理者)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町下水道条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町上水道給水条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町行政財産使用料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
宇美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	反対:鳴海 賛成:安川(禎)
宇美町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町議会ハラスメント防止条例検討特別委員会の調査報告について		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(発議第3号) 宇美町議会のハラスメント防止に関する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
(発議第4号) 宇美町議会ハラスメント防止条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
(発議第5号) 地域医療提供体制の維持・確保のための診療報酬改定等を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成:安川(禎)

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。



討論

反対

鳴海 圭矢 議員

日替わりで新しいこどもが入ると、保育士とこどもの関係構築が難しくなり、ストレスになるのではないかと懸念している。

宇美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

賛成

安川 禎幸 議員



「こども誰でも通園制度」は、子ども・子育て支援法の改正の目玉になる大きな事業だ。事業を実施したうえで、今後、問題点を協議していく方がよいと思うので賛成する。

一般質問

町政を問う7人が登壇



一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報常任委員会で校正しています。

**白水 英至 議員** ..... 8P  
◆スポーツ振興で町の活性化を

**丸山 康夫 議員** ..... 9P  
◆中学校で配膳式全員給食の実現を

**小林 孝昭 議員** ..... 10P  
◆若い世代が住みたくなる町へ

**高橋 紳章 議員** ..... 11P  
◆宇美町共働事業提案制度の展望は

**鳴海 圭矢 議員** ..... 12P  
◆今後の物価高騰対策は

**黒川 悟 議員** ..... 13P  
◆地域防災力の総合的な底上げを

**安川 禎幸 議員** ..... 14P  
◆第7次宇美町総合計画の成果と課題は

議会をもっと身近に  
ライブ配信・録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも、分かりやすくご覧いただけます。



ライブ配信・録画配信はこちら



白水 英至 議員

### スポーツ振興

私の視点「なぜここを質問したか」

今期は、町民の声を届ける思いで町政全般にわたり一般質問を行った。最も関心の高いスポーツ振興について、過去を振り返りながら、今後の方針を問う。



録画配信はこちらから▶

## スポーツ振興で町の活性化を

答弁 (町長) スポーツを生き生きと楽しめる町に

問 令和4年6月の一般質問で、中止となっている町民球技大会、スローピッチソフトボール・ソフトラレーボール大会は、主催者であるスポーツ協会、関係団体と意見交換されるとの答弁があったが、その結果は。

答 社会教育課長 自治会や校区「コミュニティ」にも協力を依頼し、「誰もが気軽に楽しめる」ことを目指し、交流できるスポーツ競技を実施したいとの協議結果により、令和6年度は軽スポーツおよびバレーボール大会が実施された。スローピッチソフトボール大会は、協議を重ね、8年度に実施される予定で進んでいる。

問 町民球技大会の必要性は。

答 社会教育課長 町民の健康と体力増進を図り、町民相互の連帯感や地域の活性化につながると考える。

問 中学校部活動の地域移行の状況は。

答 学校教育課長 令和4年度開始で3部活動、

問 外部指導員の登録者数は。また、増やすための取組は。

答 学校教育課長 登録者数は、令和5年度は7名、6年度は9名、本年度は8名。顧問教員の補助的な役割のため、広く募集をしていない。

問 町長のスポーツ振興による町の活性化の考えと、取組に対する自己評価は。

答 町長 この4年間は、スポーツ競技団体と連携協定を締結し、協定に基づいた取組を行った。また、町立武道館の改修などの環境整備に力を入れ、スポーツをする・観る・支えるといった多様な価値観とスポーツの多様性を追求してきた。スポーツは、お互いの絆を深める素晴らしいもの。障がいの有無にかかわらず、健康でスポーツを生き生きと楽しむことができる町となるよう取り組み続けたい。



質問を終えて スポーツで培われる絆や仲間は、災害時に地域を支える力となるため、町の球技大会は続けるべきだ。

### 学校給食



私の視点「なぜここを質問したか」

国は、中学校給食も可能な限り早期の無償化を図る方針を示した。中学校での給食無償化に向けて、選択制弁当給食の見直しを含め、町の方針を問う。

丸山 康夫 議員



録画配信はこちらから▶

## 中学校で配膳式全員給食の実現を

答弁 (教育長) 国の動向を踏まえ迅速に対応する

問 令和8年4月から実施予定の小学校給食無償化に関して本町の受け入れ態勢は。

答 学校教育課長 小学校給食無償化に関する情報は、いまだ国から連絡はないが、報道で判明していることは、補助金は月額4688円が基準になるだろう。不足分の負担について、保護者負担か自治体負担かは不明。

問 小学校給食無償化に伴い町の財政負担はどう変わるのか。

答 学校教育課長 給食調理委託業務は、本年度は小学校5校分で年間約8000万円を計上しているが、この調理業務は特に変わらない。給食費は、本年度で1食360円。このうち80円は、現在町が負担している。無償化では、保護者負担はなくなり、差額を町が負担する。

問 本町の中学校給食の現状は。

答 学校教育課長 喫食率は、本年1学期末で約70%と徐々に向上している。給食を頼まない理由は「苦手なものが多い」、「量が多い」以外に「母が弁当を作るのが好きだから」など。食べ残しは、ご飯が約23%、おかずが約16%となっている。

問 中学校の選択制弁当給食費の値上げの見込みは。

答 学校教育課長 本年度は値上げを行っていないが、来年度は既に食材等の値上げ情報が入っており、現在金額を含め検討を行っている。



中学校で採用中の選択制弁当給食

質問を終えて 中学校給食の無償化に向けて、今すぐにも検討を始めないと間に合わない。全員給食実現に向けてスピーディーに検討を進めてほしい。



たかはし のぶあき 議員 小林 孝昭 議員

### 定住・移住対策

私の視点「なぜここを質問したか」

本町の将来を担う人材が町に定着できるように、持続的な地域社会環境を整えるため、奨学金返済補助の考え方について問う。

## 若い世代が住みたくなる町へ

答弁 (町長) さまざまな角度から取り組んでいく

録画配信はこちらから▶



問 若い世代の町内定住が、地域社会の持続や町の将来像および財政的・経済的基盤にどのような役割や効果をもたらすと認識しているか。

答 企画財政課長 若い世代の町内定住は、地域社会の持続や本町の将来にとって重要である。

答 企画財政課長 人材確保や産業創出、地域コミュニティの継承に加え、町民税や固定資産税の増収、消費拡大や町内企業の活性化を通じて、町全体の発展につながると認識している。

問 若い世代の町内定住を促進する取組は。

答 企画財政課長 第7次総合計画に基づき子育て世代の定住促進に取り組んできた結果、近年は30〜45歳層で転入超過となっている。

第3子以降の保育料無償化に加えて高校生世代までの医療費助成を拡充するなど、今後も若い世代の定住につなげていきたい。



問 子育て世代への支援が進む一方、18歳から24歳の若者は町外転出が多く、奨学金返済の負担が地元回帰を妨げる要因ともなり得る。

答 企画財政課長 奨学金返済補助制度は地域の好循環を生む可能性があると考えられるが、町の認識と今後の取組方針はどうか。

問 子育て世代への支援が進む一方、18歳から24歳の若者は町外転出が多く、奨学金返済の負担が地元回帰を妨げる要因ともなり得る。

会課題であるとの認識は共有している。

奨学金返済補助制度は若い世代の定住施策の一つの選択肢であるが、制度設計によっては財源面の課題となるため、先行自治体の状況を参考にしっかりと検証していく。

問 町長が考える若い世代への定住・移住政策の方向性は。

答 町長 若い世代の定住・移住は本町の将来にとって重要であり、子育て支援施策の成果として転入超過が続いている。

今後は、空き家の利活用やシェアプロモーションを通じて、若い世代に選ばれるまちづくりを進めていく考えである。

質問を終えて 若い世代が安心して暮らし、働き、子育てできる環境づくりは町の持続に直結する。人を育み支える視点を共有し、よりよい宇美町の未来を築いていきたい。

### 共働事業



私の視点「なぜここを質問したか」

共働事業提案制度は、町民活動団体と町が共働で公益的な事業を実施して地域課題の解決を図るもので、魅力あるまちづくりのため、もっと活用してもらいたい。

## 宇美町共働事業提案制度の展望は

たかはし のぶあき 議員 高橋 紳章 議員

答弁 (町長) さらに事業を拡充させていきたい

録画配信はこちらから▶



問 共働事業提案制度の導入の経緯と目的は。

答 地域コミュニティ課長 導入の経緯は、平成25年度に策定された「宇美町共働のまちづくり推進のための指針」の中で、共働を進めるための環境づくりの一つとして示され、29年度から開始となった。

目的は、町民活動団体(団体)が独自性を生かし、町とパートナーとなって、地域課題の解決を図るために共働事業を実施する。

問 直近3年間の共働事業の提案件数と実施件数は。

答 地域コミュニティ課長 令和5年度は提案および採択20件、6年度は提案および採択11件、7年度は提案10件・採択9件。

問 共働事業の審査方法と着眼点は。

答 地域コミュニティ課長 6名で構成される宇美町共働のまちづくり推進委員会の中で、

提案する団体が事業内容のプレゼンテーションを行う。質疑を審査委員が行い、採択・不採択の事業を決定する。

公益性の高い事業で、地域課題の解決に対して具体的な成果および効果が期待でき、団体の独自性が生かされたものであるかが審査の着目点としている。

問 実施された共働事業の振り返りは。

答 地域コミュニティ課長 事業実施後は、実績報告書が提出され、多くの町民に知ってもらうため、公開方式で事業報告会を開催し、振り返りを行っている。

問 この4年間を振り返り、制度の思いと今後の展望について、町長の見解は。

答 町長 町の魅力発信や活性化、地域コミュニティにおける人材発掘なども期待され、町民と深く関わることで職員の意識改革につながる事業であると考えている。



今後も、「宇美町の元気の象徴」であり、町民のパワーを感じるこの事業をさらに拡充させていきたい。



▲宇美町共働事業提案制度についてはこちら

質問を終えて 次世代の人たちがこの町に住んでよかったと思われるように、この事業が継続して行われ、町の発展に貢献することを切に望む。

# 物価高騰対策



なるみ けいや  
鳴海 圭矢 議員

私の視点「なぜここを質問したか」  
町民から要望が強い物価高騰対策。独自のアンケート調査の結果、水道料金減免と学校給食無償化に絞って質問した。

## 今後の物価高騰対策は



録画配信は  
こちらから▶

答弁 交付金を活用し、  
(町長) 効率的で効果的な事業を進める

- 問** 物価高騰対策は喫緊の課題といえるが、水道料金の基本料金減免については、本年度に引き続き実施を求める声が非常に大きい。来年度も実施する考えはか。
- 答** 企画財政課長  
現段階で国の交付金の額・詳細が明らかではないが、今回、国から新たに示された交付金×ニューの中には水道基本料金の減免が追加される予定である。具体的な事業については今後十分に協議していきたい。
- 問** 減免期間の延長を求める声もあるが延長は可能か。
- 答** 企画財政課長  
期間を延ばすことは可能だが、国の交付金の総額や他事業費との関係で、どの程度の予算を充てられるかについて検討が必要である。  
上水道を利用していない世帯への対応については慎重に検討したい。
- 問** 学校給食の無償化は、国の対応を待たずに町独自で早期に実施する考えはないか。
- 答** 学校教育課長  
町として早期に実施する考えはない。当町としては国の動きに沿って進めていく。
- 問** 無償化されたとしても安全性と質の維持は担保されるべきであるが、町の対応は。
- 答** 学校教育課長  
無償化されても、栄養バランスなどが考えられた献立を作成し、安全性や質の確保に努めたい。
- 問** アレルギーなどの理由で学校給食を食べられない場合、補助金を出す自治体もあるが、本町の方針は。
- 答** 学校教育課長  
本町でも補助を考えている。今後、上司とも協議して決定していきたい。



質問を終えて  
物価高騰は今後も続く。賃上げなど抜本的な対策が必要である。

**問** 物価高騰対策の今後の方針は。  
**答** 町長  
効率的で効果的な事業を実施していく必要がある。交付金の額が示されていないが、食料品の物価高騰に対する施策は、全ての町民の皆さんに支援が行き渡るよう、スピード感をもって実施していきたい。

**上水道の基本料金を3ヵ月分減免します。**

※対象となる方  
宇美町では、上水道の料金負担軽減等の施策を掲げている町民の方々の負担軽減のため、上水道料金の基本料金を減免します。減免を受けるための申請書提出は、必要ありません。申請は任意です。基本料金を、下水道料金は減免対象外となります。

【対象となる方】  
宇美町上水道の給水契約がある(料金を払っている)方で、その使用用途が「家庭用」(住宅用)の方。  
宇美町上水道に利用していない(利用していない)は、上水道基本料金の減免対象外となります。

【対象月】  
令和7年8月(課金分)から10月(課金分)までの3ヵ月分

【減免額(税込)】11万円未満以上15万円未満の場合

月 額	1ヵ月分(課金額)	3ヵ月分(減免額)
標準額	1,200 円	3,700 円
最高額	1,020 円	3,060 円

問い合わせ先  
課金科(水道課) 宇美町役場 上下水道課  
TEL: 097-924-2224 (直通) 宇美町役場 総務課  
町指定工務課 TEL: 097-924-2228 (直通)

令和7年度に実施された減免

# 地域防災



私の視点「なぜここを質問したか」  
隣近所のつながりが薄れる中、防災を通じて地域の交流を促し、防災力向上へ一歩前進となるよう自主防災の必要性、防災・減災の今後の方向性を問う。

## 地域防災力の総合的な底上げを

くろかわ さとる  
黒川 悟 議員



録画配信は  
こちらから▶

答弁 地域防災力の向上に取り組む  
(町長)

- 問** 大規模災害に備えた民間事業者との災害時応援協定の現状は。
- 答** 地域コミュニティ課長  
令和7年10月末現在、24の協定を締結している。  
主にライフラインなどの応急復旧を行う土木、管工事、建築、造園などの組合、情報通信事業者など。  
今後必要な災害時応援協定の締結を進めていく。
- 問** 災害用トイレトラックの進捗状況は。
- 答** 地域コミュニティ課長  
予定どおり進んでいる。  
今後は災害派遣トイレネットワークに加入し、全国の加入自治体と相互支援する体制に加わる予定としている。
- 問** 機能別消防団員の現状と少年消防クラブ導入の考えは。
- 答** 地域コミュニティ課長  
機能別消防団員の必要性は認識しているが、現在、団員確保には至っていない。
- 問** 学校給食の無償化は、国の対応を待たずに町独自で早期に実施する考えはないか。
- 答** 学校教育課長  
町として早期に実施する考えはない。当町としては国の動きに沿って進めていく。
- 問** 無償化されたとしても安全性と質の維持は担保されるべきであるが、町の対応は。
- 答** 学校教育課長  
無償化されても、栄養バランスなどが考えられた献立を作成し、安全性や質の確保に努めたい。
- 問** アレルギーなどの理由で学校給食を食べられない場合、補助金を出す自治体もあるが、本町の方針は。
- 答** 学校教育課長  
本町でも補助を考えている。今後、上司とも協議して決定していきたい。
- 問** 地域防災力の底上げを図るための今後の方針は。
- 答** 町長  
令和5年度から「今後の宇美町消防団を考える懇談会」を設置し、関係団体等の代表を交え、消防団の組織、運営の在り方、団員の確保についての意見交換を行っている。  
その中で、地域の防災訓練への参加や機能別消防団員の検討などがあり、取組が必要と考える。  
自主防災組織の課題としては、専門的な知識を有する防災リーダー不足があり、課題解決のため、議会と粕屋南部消防本部を交えた研修や地域防災についての意見交換を行った。  
現在、防災士の資格取得を推進し、地域の防災リーダー育成



地域防災力の向上をめざした各自治会での取組の一例



質問を終えて  
自主防災組織を活性化し、防災を切り口に自治会加入促進につながることを期待したい。

※機能別消防団とは  
通常の消防団員が対応しきれない大規模災害時や特定の専門分野に特化して活動する団員のこと

# 議会改革調査特別委員会

## ～4年間の活動を振り返って～

### 開かれた議会をめざし ライブ・録画配信を導入

当委員会が最初に取り組んだ改革は、議会本会議・特別委員会のライブ・録画配信です。これまで使用してきたシステムを活用しました。録画配信では、聴覚に障がいがある方に分かりやすいよう、字幕を付けています。



宇美町議会 インターネット中継

議会のライブ・録画配信はこちらから録画はいつでもご視聴いただけます



保健事業と介護予防を一体に捉えて、ライフステージに応じた切れ目のない支援を提供し、町民の皆さんが健康に関心を持って主体的に予防に取り組んでいただけるよう環境づくりを進めてまいります。

### 議会運営の効率化を図るため タブレット端末を導入

令和4年11月から、ペーパーレス会議システムを導入し、紙などのコスト削減、議会運営の利便性向上に取り組みました。

約3年間のコスト削減 (システム保存された紙を集計)

削減できた資料(紙)の枚数 **178万7116枚**  
もし、段ボール箱に保管した場合… **約4000箱**

そのほか、紙を印刷する作業にかかる人件費の削減、保管場所も縮小され、資料の追加・修正作業時間の短縮などの業務効率化を図りました。

### 議員のなり手不足を解消し、優秀な人材の確保を

現在、全国の地方議会では、議員のなり手不足により、約30%の議員選挙が無投票となっています。

なり手不足などにより優秀な人材を確保することができない場合、町民の声が町政に届きにくくなるのが懸念されます。

そこで、今期から議員定数を14人から12人に変更したこともあり、議員選挙に立候補しやすい環境づくりなどを目的に、議員報酬額の見直しに取り組みました。

全国の自治体の情勢を分析しながら、政務活動費の導入も含め慎重に協議を重ね、町長に議員報酬の見直しの要望書を提出しました。その後、報酬審議会を経て令和7年4月から議員報酬月額5%増額に至りました。

そのほかの取組として、小学校校区コミュニティの方々との座談会、近隣の須恵町議会議員の方々との予算・決算審査方法などの意見交換を実施、また、議長・副議長の立候補制導入を協議するなど、議会改革に努めました。



ペーパーレス会議システムを活用した会議

#### 【宇美町の議員報酬月額】

※議長等の役職を除く  
令和6年度まで  
月額 **275,000円**

令和7年度以降  
月額 **289,000円**



委員会  
コメント

伝統を大切にしながら新しいことにも挑戦する姿勢が、議会を活性化させ、町民の皆さまからの信頼度を高め、ひいては町民福祉の向上につながると信じています。今期の取組を通じて、優秀な人材が選出され、町民一人ひとりの想いが町政に届けられることを願っています。

# 総合計画

### 私の視点「なぜここを質問したか」

令和5年に策定された第7次総合計画は、前半4年間の前期実践計画を終えようとしている。第7次総合計画のこれまでの成果と今後の課題についてお尋ねしたい。



やすかわ よしゆき  
安川 禎幸 議員

## 第7次宇美町総合計画の 成果と課題は

答弁 (町長) 財源確保では、ふるさと納税額など過去最高となった。さらに取組を強化していく。

録画配信は  
こちらから▶



**問** 第7次総合計画の基本目標「学校教育の充実」「子育て支援の充実」の成果と課題は。  
**答** 教育長 それぞれの取組が軌道に乗ったことが成果と考える。「学校教育の充実」の重点的取組は、教育支援センター設置、学びの多様な学校開校などの教育環境整備。また、水泳学習の民間委託、学力向上推進拠点校を核とした授業改善を行った。課題は、学校体育館のエアコン設置、中学校部活動の地域展開、教職員の時間外在校等時間の縮減である。「子育て支援の充実」の重点的取組としては、こども計画の策定、こども家庭センターやこどもの居場所の開設、こども会議の実施、第3子以降の保育料無償化などを行った。課題は、こどもの居場所の利便性を高めるなどの支援のワンストップアクセスの充実、特に高校生世代がこども家庭センターの支援にアクセスする点などである。

**問** 総合計画の重点目標「子育てしやすいまち」の未来像は。  
**答** 教育長 子育てしている方や、子育てしようとする方々が、やっぱり宇美町がいいと住み続けていた、それが私の考える「子育てしやすいまち」の未来像である。  
**問** 総合計画の中で町長が特に力を入れた施策は。  
**答** 町長 まず財源確保として、収納率の向上、企業版ふるさと納税の取組を強化した。収納対策室の設置などにより、過去最高の収納率となった。ふるさと納税専任の係を編成する体制強化により、過去最高の寄附額を記録した。政策面は、総合計画の重点方針として、子育てしやすいまちの実現、シニアプロモーションの推進、自治体DXの推進に特に力を入れた。

質問を終えて  
「第7次総合計画」は着々と成果を上げていっていると感じる。施策の検証と今後の取組に期待したい。



宇美町ふるさと納税で人気のうなぎ

**問** 町長 まちづくりの課題は、自治体DXの推進、道路交通網の整備、特に道路整備に対する財源確保として、国への要望を強化し、整備を加速していく必要がある。総合計画にある「このまちが、いい。わたしたちの誇り宇美」がめざすべき未来像であり、宇美町に住んでよかったと思っただけのまちづくりを進めていく。

# 厚生文教常任委員会

## ～ 4年間の活動を振り返って～

住民課・健康課・福祉課・環境課・教育委員会に関する事務を調査・審査しました。

今期、当委員会において協議・活動してきた実績の主なものは次のとおりです。

- ①県外への視察 (小中一貫義務教育学校導入の経緯を聴取:兵庫県姫路市)  
(医療費適正化・特定保健指導の意見交換:徳島県阿南市、小松島市)
- ②教育委員会と懇談会を開催 (生徒の不登校・学力の現状について意見交換)
- ③宇美南中学校の視察 (現場を確認し、教職員からの声を聴き、生徒と同じ給食を試食)
- ④学びの多様化学校を視察 (不登校児童に配慮した教育課程の編成について)
- ⑤こども家庭センターの視察 (妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援する取組について)



①兵庫県姫路市を視察



①徳島県阿南市を視察



②議会と教育委員会が情報交流



③宇美南中学校を訪問



④学びの多様化学校を視察



⑤こども家庭センターを視察



### 委員会コメント

当委員会は、この4年間、環境問題・福祉と教育の充実・子育て支援等に全力で取り組んできました。

うみ議会だより第100号の節目に、今後も議会の役割を丁寧に果たしていきます。

# 総務建設常任委員会

## ～ 4年間の活動を振り返って～

総務課・地域コミュニティ課・企画財政課・管財課・シティプロモーション課・税務課・都市整備課・上下水道課に関する事務を調査・審査しました。

今期、当委員会において協議・活動してきた実績の主なものは次のとおりです。

- ①ひばりが丘災害復旧工事の進捗
- ②県外への視察 (震災復興への経過および議員・議会の対応:福島県矢吹町、鏡石町)  
(防災リーダーの育成:愛媛県松山市)
- ③宇美町消防団と懇談会を開催 (消防団のなり手不足の現状について意見交換)
- ④おごおり防災士会を視察 (自主防災組織・防災リーダー・防災士会の設置)
- ⑤議会防災訓練 (粕屋南部消防署による救急講習及び実演訓練)
- ⑥防災トイレトラック導入の協議 (一般質問で提言後、令和7年6月定例会にて財産取得で可決)
- ⑦防災士資格を議員8名が取得



①令和7年度中に復旧工事が完了



②震災復興におけた議会の取組を視察



③消防団の現状を聞き取り把握



④小郡市で防災リーダー育成を学ぶ



⑤議員全員が救命救急を学ぶ



⑦防災士資格を取得した議員

### 委員会コメント

当委員会は、今期、チーム一丸となって安全安心に暮らせるまちづくりをめざし、特に防災支援に力を入れてきました。

今後は、これまでに学んできたことを最大限に生かし、地域防災のさらなる向上に努めていきます。



## 議会ハラスメント防止条例検討特別委員会

### ～議員発議によるハラスメント防止条例の制定～

12/10 議員によるハラスメントの防止および根絶を図るため、12月定例会において「宇美町議会のハラスメント防止に関する決議」および「宇美議会ハラスメント防止条例」を委員会発議し、全会一致で可決しました。



福岡県議会へ視察

#### 「宇美町議会のハラスメントの防止に関する決議」

1. 議会におけるあらゆるハラスメントを未然に防止し、根絶することにより町民から信頼される議会の実現を図る。
2. 議員は、町民の代表として常に高い倫理観を持ち、ハラスメントの防止及び根絶に努める。
3. 議員は、ハラスメントが行われたと疑われた時は、自ら誠実な態度を持って事実を明らかにし、説明責任を果たさなければならない。
4. ハラスメントの防止及び根絶を図るため、必要な研修等の実施に努める。
5. 「宇美町議会ハラスメント防止条例」を制定し、町民からの信頼に応える。



#### 委員会コメント

本条例の制定は、議員一丸となって取り組むことができました。本条例の制定と決議により「宇美町議会はハラスメントを絶対に許さない」という強い意思表示ができたのではないかと思います。

#### 議長 あいさつ

「夢が町を変える」、平成13年5月発行のうみ議会だより創刊号はこのフレーズからスタートしました。町民の皆さまの声(夢)をかたちにすべく、また、想いをつなぐ懸け橋となるべく紡がれてきたうみ議会だよりが今号で第100号を迎えました。

これもひとえに、町民の皆さまのご理解とお力添えがあったからこそであり、改めて感謝申し上げます。

令和4年3月、コロナ禍の最中でスタートした私たち議員の任期も残りわずかとなりました。今任期中は、ペーパーレス化による事務の効率化を推進するとともに、防災リーダー育成や医療費適正化についての調査・研究などに取り組み、また、皆さまの声(夢)をかたちにするため、都市計画道路志免宇美線の早期完成や本町にスマートインターチェンジの設置を求める国への要望活動などを積極的に行ってまいりました。

夢がかたちになったものもあれば、課題が山積し、道半ばのものも数多くあります。町民の皆さまと議会とが「ワンチーム」という思いで、最後まで全力で取り組んでまいります。



## 議会広報常任委員会

### ～県主催の議会広報研修会に参加しました～

11/6 博多サンヒルズホテルで開催された福岡県主催の「町村議会広報研修会」に参加しました。

広報誌やLINEなどのSNS、それぞれの特性を生かした情報発信の手法を学びました。

町行政に町民の参画を促していくためにも、今後は両方の情報発信ツールを上手に活用していきたいと思えます。

また、議会広報クリニックでは、専門家の視点から編集やレイアウト技術のポイント、改善点を指摘していただきました。

今後の編集にさらに生かしていきます。



議会広報クリニックの様子

### ～4年間の活動を振り返って～

当委員会では、町政や議会に対して町民の皆さまの関心が薄れてきていることに危機感を持ち、議会と町民の皆さまの懸け橋となるように、議会だよりの発行や、ホームページをはじめとするSNSを活用した情報発信、議会中継(ライブ・動画配信)に取り組んできました。

広報編集技術も全議員が参加する研修会を開催することで、写真の撮り方やトリミング方法を学習し、見出し・キャプションの作成などについても飛躍的に向上することができたと感じています。

今回のうみ議会だより第100号が、今期の委員が編集する最終号になります。

4年間のご愛読、ありがとうございました。



外部講師を招き全議員が参加する広報研修会

#### 委員会コメント

今期は「皆さまに手に取って、読んでいただける議会だより」をめざし、読みやすさを追求しました。

また、県外視察研修を取りやめ、全議員が参加する広報研修会を開催し、編集技術の向上に努めました。

当委員会のチーム連携も向上し、皆さまに議会活動と熱意を伝えることができたのではと実感しています。

